

新春市民のつどいを開催
秘書課
新年を迎え、改めて台風第19号および10月25日の大雨により被害に遭われた方々に思いを致すとともに、本市の一日も早い復旧・復興とさらなる飛躍を祈念するため、新春市民のつどいを開催します。
市民の方や市内に事業所を有する方なら、どなたでも参加できます。ぜひ皆さま



お知らせ Information

- いわき市民コミュニティ放送 (76.2MHz)
- ▶ 市政情報番組「いわきWith」
毎週月曜日 19:00~19:30
毎週金曜日 13:00~13:30 (再放送)
毎週土曜日 8:30~9:00 (再放送)
 - ▶ GOOD DAY いわき プラス
月~金曜日 7:45~/12:10~
 - ▶ 古紙回収実施の有無 (当日に放送)
回収日が月~金曜日 7:43ごろ
回収日が土曜日 7:59ごろ
- ラジオ福島 (1431KHz・90.2MHz)
- 市政情報番組 毎週土曜日 8:55~
- 市政だより
- 福島放送 12月14日(土) 11:40~
1月11日(土) 11:40~
福島テレビ 12月15日(日) 13:55~
福島中央テレビ 12月21日(土) 9:25~
テレビユー福島 12月28日(土) 9:25~
- シルミルいわき
- 福島放送 12月22日(日) 16:25~
※変更となる場合がありますので、ふるさと発信課ソーシャルネットワークグループ(☎22-7503)へお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

今月の納期 (納期限12月25日(水))		
固定資産税・都市計画税	第3期	
下水道事業受益者負担金	第3期	
国民健康保険税	第4期	
介護保険料 (第1号被保険者)	第6期	
後期高齢者医療保険料 (※)	第5期	(※納期限は1月6日(月)となります。)

いわき市の人口と面積	
人口	340,033人 (-172)
男	168,251人 (-30)
女	171,782人 (-142)
世帯数	143,677世帯 (-22)
面積	1,232.02km ²
令和元年11月1日現在 / (前月比)	

※掲載内容は変更となる場合があります。

権利擁護講演会を開催
保健福祉課権利擁護・成年後見センター
☎27・8571
FAX 27・8640
日/所 来年1月11日(土) 14時~16時 / アリオス
演 成年後見制度入門!! 気になる時どうする?? (桂ひな太郎(落語家))
定 2百人 (応募多数の場合)

各種成人健診・検診の受診を健康づくり推進課生活習慣改善係
☎22・7448
市では、年齢などに応じて各種成人健診・検診を実施

施しています。本年度受診対象となる健診・検診は早めに受診してください。
内 特定健診(国民健康保険加入者のみ)、後期高齢者等健康診査、肝炎ウイルス検診、ヘリコバクター・ピロリ抗体検査、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮がん検診、骨粗しょう症検診、歯周疾患検診
期 来年1月31日(金)
※勤務先などで受診できない方には受診券を発行します。詳しくは同課へ。



レポート 268

遠野和紙を若い世代へつないでいく

Q 地域おこし協力隊として活動しようと考えたきっかけは何ですか。
田舎に移住したいと考えていたのが最初のきっかけです。東京にあるふるさと回帰支援センターで、地域おこし協力隊について知りました。県指定伝統的工芸品の遠野和紙の技術継承に取り組んでいることを聞き、和紙に興味があったことや、祖母の実家がいわきにあったこともあり、縁を感じてすぐに応募しました。
Q 活動について教えてください。
遠野和紙の技術継承と普及のための活動が主です。日本三大和紙と呼ばれる細川紙の生産地に研修に行き、和紙作りの技術を学びました。和紙作りの主な原料は、コウゾとトロロアオイですが、トロロアオイは、寒い時期にしか紙すきに適した状態と



平山祐さん(左)・綾子さん
遠野地区地域おこし協力隊。夫婦で神奈川県から移住し、昨年10月から活動。綾子さんは絵が趣味で、以前から和紙に興味を持っていた。



卒業証書に使う遠野和紙を作るため、紙をすく高校生と平山さん夫婦

なりません。そのため、冬の間は和紙製作を行い、そのほかの期間は、遠野地区で原料を栽培しています。
また、遠野和紙の普及のため、市内外のイベント等で紙すきの体験講座などを行っているほか、遠野地区内の学校と協力し、遠野和紙についての授業を行ったり、高校生と一緒に卒業証書を製作したりしています。
Q 遠野和紙の特徴や活動の効果などについて教えてください。
遠野和紙には五百年以上の伝統があり、原料を地産地消しているほか、手作業で丁寧な作っている点の特徴です。和紙の製作には水が一番大切なので、水がきれいな遠野地区では質の良い和紙を作ることができます。また、活動の効果として、普及の面では遠野地区だけでなく市内外



遠野和紙について勉強中のシルヴィアさん(右)

から遠野和紙について問い合わせがあったり、継承の面では、遠野地区の子どもたちが和紙について詳しくなっていたりするなど、少しずつ成果が出てきていると感じています。
Q 今後の目標についてお聞かせください。
十月から新たにシルヴィアさんが地域おこし協力隊に加わり、三人体制となりました。シルヴィアさんは英語を話せるので、今後は外国人観光客の誘客も考えていきたいです。また、若い世代へ、遠野和紙の文化を継承することが大事な役割になります。少しずつ地区の子どもたちにも和紙の文化が根付いてきていますが、将来的に和紙作りを学んでみたいと思ってもらえるよう、取り組みを続けていきたいです。

○遠野和紙に関するお問い合わせ 平山祐さん ☎080-4428-6397

市民のひろば